

2024年2月14日  
株式会社 電通グループ  
代表執行役 社長 グローバル CEO 五十嵐 博  
(東証プライム市場 証券コード：4324)

## APAC 地域における減損損失の計上および 2023年12月期通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

株式会社電通グループ（本社：東京都港区、代表執行役 社長 グローバルCEO：五十嵐 博、資本金：746億981万円、以下「当社」）は、本日、APAC（日本を除くアジア太平洋）地域において減損損失を計上しました。これにより、2023年11月14日に公表した2023年度通期（2023年1月1日～12月31日）の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

### 1. 減損損失の計上および内容について

2023年11月14日に公表した通期業績予想には含まれない減損損失531億円を認識し、2023年度第4四半期（2023年10月1日～12月31日）に計上しました。

当社グループでは、のれんに関して毎年第4四半期会計期間に年次の減損テストを実施しています。この度、当社グループの4事業地域の一つであるAPACにおいて、厳しい事業環境に起因した2023年度の業績悪化を踏まえ、2024年度以降の事業計画を見直し、減損テストを行った結果、2023年11月14日に公表した通期業績予想には含まれない、のれん及び無形資産の減損損失の合計531億円を新たに認識しました。なお、のれんと無形資産の減損損失額はそれぞれ502億円、29億円となります。

### 2. 2023年度の通期業績予想と実績値との差異について（IFRS基準、2023年1月1日～12月31日）

	2023年度 実績(A)	前回(11月)発表 予想(B)	増減額 (A-B)	増減率 (%)	(ご参考)前期実績 (2022年1-12月)
収益 (百万円)	1,304,552	1,260,700	+43,852	+3.5	1,246,401
売上総利益 (百万円)	1,144,819	1,122,300	+22,519	+2.0	1,119,519
調整後営業利益 <sup>※1</sup> (百万円)	163,515	151,500	+12,015	+7.9	204,307
オペレーティング・ マージン	14.5%	13.5%	+100bps		18.4%
調整後当期利益 (親会社の所有者に帰属) <sup>※2</sup> (百万円)	89,839	88,600	+1,239	+1.4	130,835
基本的1株当たり 調整後当期利益 (円)	339.79	335.00			488.24
営業利益 (百万円)	45,312	78,400	△33,088	△42.2	117,617
当期利益 (親会社の所有者に帰属) (百万円)	△10,714	33,300	△44,014	-	59,847
基本的1株当たり 当期利益 (円)	△40.52	125.94			223.33

為替換算レート	2023年度実績(A)	前回(11月)発表予想(B)	増減額(A-B)	増減率(%)	(ご参考)前期実績(2022年1-12月)
1USD	140.6 円	139.3 円	1.3 円	+0.9	131.4 円
1GBP	174.9 円	173.0 円	1.9 円	+1.1	161.9 円

2023年度の実績は、前回（11月）発表予想と比較し、売上総利益と調整後営業利益は上回ったものの、営業利益は、主に減損損失の計上により、42.2%の減少となった。また、同影響により、親会社の所有者に帰属する当期利益の項目は、前回発表予想を440億円下回り、107億円の当期損失を計上した。

※1. 「調整後営業利益」は、営業利益から、「買収行為に関連する損益」および「一時的要因」を排除した、恒常的な事業の業績を測る利益指標。「買収行為に関連する損益」：買収に伴う無形資産の償却費、M&Aに伴う費用、完全子会社化に伴い発行した株式報酬費用。「一時的要因」：構造改革費用、減損、固定資産の売却損益など。

※2. 「調整後当期利益（親会社の所有者に帰属）」は、当期利益（親会社所有者帰属分）から、営業利益に係る調整項目、関連会社株式売却損益、アーンアウト債務・買収関連プットオプション再評価損益、これらに係る税金相当・非支配持分損益相当などを排除した、親会社所有者に帰属する恒常的な損益を測る指標。

## 【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、沢田、杉浦

Email : [group-cc@dentsu-group.com](mailto:group-cc@dentsu-group.com)